

荘厳整い光輝く本堂内陣！

(黒漆塗り・金箔等工事完了)



内陣床と框の黒漆塗・金箔補修等の工事完了により
厳かに光輝き報恩講を待つ本堂内陣 (25.9.15撮影)



発行所
岡谷市郷田一丁目6番3号
TEL(0266)22-2524
金松山 敬念寺
発行
敬念寺門信徒会
編集
会報組織委員会

朝7時はみ仏さまや
彼(か)の人との
出会(であ)いの時間

小僧の目

▼今年の報恩講法要は例年と違って一段と荘厳（まじか）が整った本堂でお勤めすることができます▼黒光りした内陣の床や框、牡丹彫刻の純金箔押し（まじり）の欄間、彫刻金彩色仕上げの前卓など、どれをとっても立派なもので敬念寺の宝となりました▼これは有り難いことに、近年、永代経懇志をご上納下さった方々のおかげであります。この度の報恩講は、その感謝と仏祖への奉告の永代経法要併修でもあります▼永代経とは、一般的に言う亡き人や私の祖先代々だけの永代の供養の意味ではありません。ましてや永代経と言うお経があり、それを読むことでもありません。直訳すれば、お寺で途絶えることなく（永代に）お経のおつとめが行われる（永代性）と言う意味であります▼そのために一般には葬儀や亡き人の法事などを機縁（き縁）に自分の子孫だけに資産を残すのでなく、お寺に・・・と、ある程度まとまった懇志を納めたりするのが篤信地などの浄土真宗のお寺の習わしとなっていました▼したがって永代経法要は、もつともつと自分たちのお寺が良くなり、永代護持・存続していくために大切な法要と位置づけられていたのです▼この度の報恩講は、この永代経の心にも学び荘厳が立派に整った本堂を中心に、一人でも多くの皆さんのご参拝のもと、にぎやかに勤めましよう▼考えてみれば、敬念寺とのご縁は、浄土真宗・親鸞さまのご縁。その方のご法事である報恩講は、お彼岸やお盆の法要より大切な法要です▼秋の一日、いや半日、映像で親鸞さまの一生を学び、聖人讃仰の正信偈を唱和、高橋先生による「ご開山（親鸞）聖人のみ教え」の法話。コールガンダーの仏教讃歌に耳を傾け、お齋（食事）に舌鼓をうつなど色濃い法要・行事です。▼十一月十日（日）は、ご都合をつけられ是非ご参拝下さい。 釋 玄真

寺院行事案内

- 11月10日(日) 報恩講法要 前10:00
講師 高橋純明先生 (新潟県)
- 1月1日(水) 元旦会 前7:00
- 1月16日(木) 御正当法要 前10:00
- 3月21日(金) 春の彼岸法要 前10:00
講師 清水正宣先生 (和歌山県)

定例法話案内

- 11月20日(水) 講師 坂野実慈先生 (愛知県)
 - 12月20日(金) 講師 寺西良夫先生 (富山県)
 - 1月20日(月) 講師 未定
 - 2月20日(木) 講師 三寄靈証先生 (福井県)
 - 3月20日(木) 講師 清水正宣先生 (和歌山県)
- いずれも毎月20日 夜7:00からです。

お念珠づくり挑戦!

第三十回ファミリー参拝【七月十三日(土)】は、昨年に引き続き、若院から若い門徒の方々に企画・運営への参加を呼び掛けて、賑やかに行われました。

今年はお勤めの前のイベントとして、「お念珠」作りを親子で楽しみ、その後、讃仏偈によりお勤めをさせていただきました。境内では恒例の流しソーメンをはじめ、綿あめ、ポップコーン、輪投げ、ヨーヨー釣り、じゃんけんを行い、いずれも大好評。家族で楽しいひと時を過ごしました。



讃仏偈でおつとめ



こどもの作ったお念珠を若院さんたちが仕上げ



親子でお念珠づくりに挑戦!

第三十四回となる早朝連続参拝に 延べ六百十人参加 (皆勤四十一人)

第三十四回目の早朝連続参拝が八月一日から十日間行われ、延べ六百十人が参加。今年も皆さん熱心にお勤めされました。猛暑の今夏でしたが、一日の朝は、早朝連続参拝初めての雨降りでした。

今年も、メイン講師を若院にお願いし、「讃仏偈に学ぶ」をテーマに、日ごろお勤めさせていたいただくことも多い讃仏偈について、お話ししていただき、少しながら、讃仏偈の意味を知ることができ、良い機会となりました。

また、初日はご住職から、同じ「食」の字でも違う言い方があり(たべる・くう・いただく)、どうとらえるのが、人生の意義に関わること、衣食住に通ずる大事なこと、などのご法話を、最終日にはまとめのご法話を聴聞させていただきました。参加者一同充実感あふれた連続参拝となりました。

四日目の日曜日は、昨年・一昨年に続き赤川浄友先生から「亡き人からの呼びかけ」と題した法話を聴聞させていただきました。

「笑い療法士」でもある講師の赤川先生は、大震災被災地・東北への訪問活動もされています。今年

のご法話では、「実になる」|| 「相手の身になる」ことも亡き人からの呼びかけであることや、昨年も紹介された感動的な作文を例にして、「他力」に気付くことは「信心をいただく」ことであることなどお話しされました。

赤川先生は、ピアノ伴奏で当日の参加者をお迎えされ、法話の最後にも、ピアノ伴奏で皆さんと歌を二曲歌われるなど、楽しく心に残るご法話となりました。また、初日には大洞会長からも挨拶とお話しがありました。



赤川先生がピアノ伴奏でお迎え(25.8.4)



前卓が内陣床に映り輝く（25.9.15）



本堂内陣床蠟色漆塗り仕上げ工事の様子（25.6.11）



化粧直しされた欄間・巻障子・ふすま・かまち



法要時に使用する登高座・礼盤も金箔で化粧直し

平成二十五年度 報恩講法要のご案内

—今年最後の法要です。おさそい合わせてお参り下さい—

◆日 時 平成二十五年十一月十日（日）午前十時より

◆行事日程 （開始十分前には入堂ご着席ください。）

○受付 九時三十分～九時五十分

○報恩講法要 十時～十一時

○法話 十一時～十二時

講師 新潟県長岡市西福寺住職

高橋 純明 先生

「い」開山（親鸞）聖人のみ教え」

○おとぎ（会食） 十二時～十三時

◆報恩講協賛 門信徒作品展・菊花・山野草展示他

編集後記

ご住職の御恩報謝の念おもいによる
拠出資金に加え、尊い永代経懇志
をもって実施された「特別事業」
が無事完了いたしました。本堂内
陣床黒漆塗り、前卓純金箔・彫刻
金彩仕上げ、巻障子黒漆塗りと
和紙仕上げ等（前号三頁参照）に
より、門信徒が崇敬する敬念寺の
本堂は、一段と整った姿となり荘
厳さを増して皆様をお迎えしてい
ます。来る十一月十日（日）に
は、浄土真宗の門信徒にとって大
切な「報恩講」法要が行われま
す。
多くの皆様にご参拝いただき、
光り輝く本堂にて合掌されるよう
ご案内いたします。
（白田 記）

